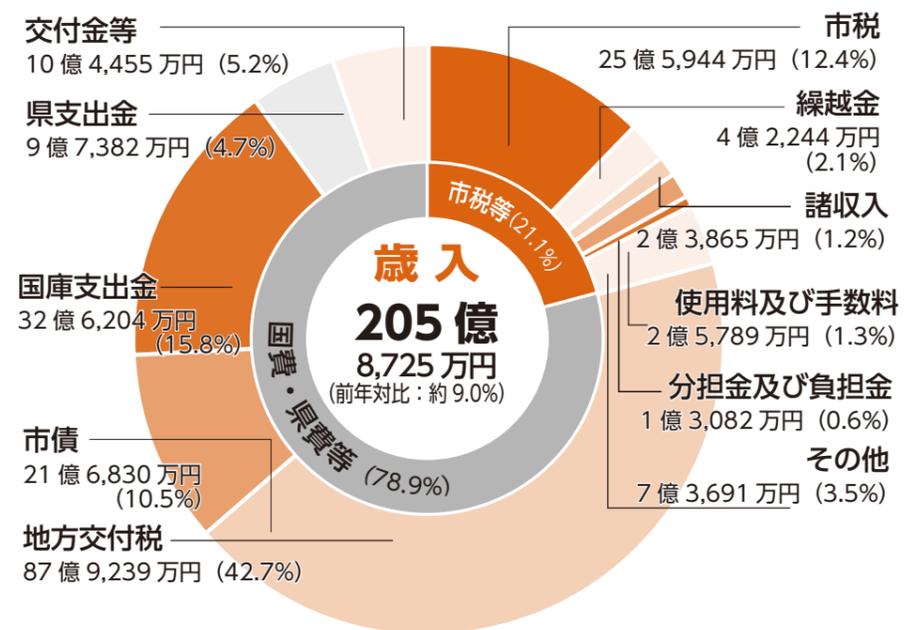


R3年度
～決算報告～

～決算報告～
昨年、黒字？赤字？



令和3年度の各会計の決算が市議会にて承認されました。皆さんから納めていただいた税金や負担金、国庫からの補助金などの程度で、どのようなに使われたのかをお知らせします。



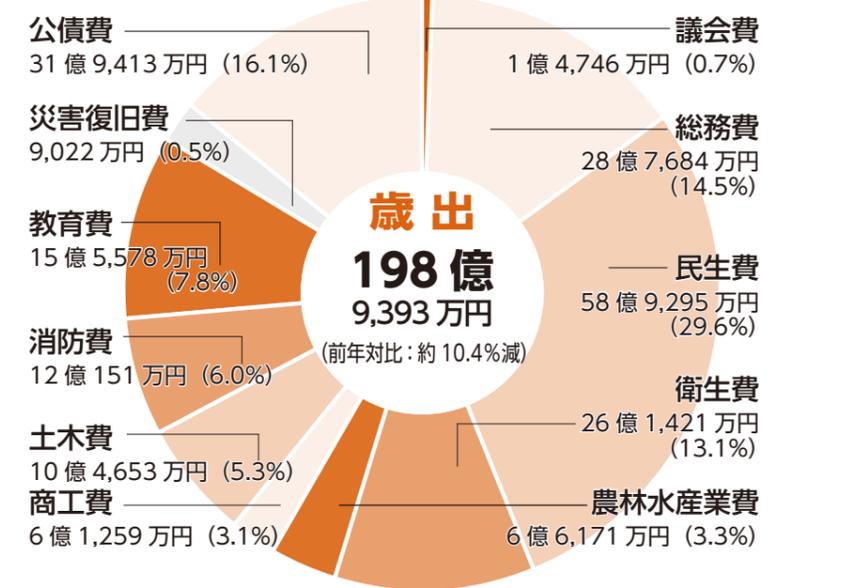
※金額の記載は全て表示単位未満で端数処理しています
※()内は構成比

【歳入】

- ▶市税…個人市民税、法人税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税
- ▶地方交付税…所得税等、国税の一部から地域にかかわらず、一定の行政サービスを提供できるよう国から配分されるお金
- ▶国・県支出金…市が行う特定の事業に対し国や県が交付するお金
- ▶交付金等…地方消費税交付金、地方譲与税、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、配当割交付金等
- ▶市債…事業等を行うために資金を外部から借入るお金

【歳出】

- ▶総務費…人事・企画・財政・課税徴収・住民窓口・選挙・統計事業等に使ったお金
- ▶民生費…高齢者、障がい者、児童福祉、生活保護など福祉事業に使ったお金
- ▶衛生費…予防接種や健診、病院、ごみ処理など健康増進や環境保全等に使ったお金
- ▶教育費…幼稚園や学校教育、文化財保存、生涯学習等の教育全般に使ったお金
- ▶公債費…市債(市の借金)を返済するために使ったお金



歳入と歳出を差し引いた結果、6億9,332万円の黒字となり、次年度予算へ繰り越ししました。

一般会計 歳入

歳入では、地方交付税や寄附金などが増加したものの、国庫支出金や県支出金などの減少により、前年度決算額に比べて約9.0%の減となりました。205億8,725万円となりました。自主財源となる寄附金や諸収入などが増加し、国庫支出金などが大きく減少したことにより、市税等・使用量及び手数料等の割合は前年度と比べて1.7ポイント増の21.1%、依存財源の割合は78.9%となりました。

一般会計 歳出

歳出では、扶助費などが増加したものの、災害復旧事業費や普通建設事業費などが減少したことにより、前年度決算額に比べて10.4%の減となりました。

特別会計

特定の事業を行う場合、また特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するために条例により設置している会計です。

住宅新築資金等貸付事業及び、国民健康保険事業(診療施設勘定)を除く会計は黒字でした。

会計名	歳入	歳出	差引額
住宅新築資金等貸付事業	2,440万円	2億8,201万円	△2億5,761万円
霊苑事業	1,843万円	1,689万円	154万円
国民健康保険事業(事業勘定)	40億9,381万円	40億1,067万円	8,314万円
〃(診療施設勘定)	7,061万円	7,640万円	△579万円
介護保険事業	43億502万円	41億2,686万円	1億7,816万円
後期高齢者医療事業	5億4,472万円	5億4,443万円	29万円
特別会計合計()は前年度決算額	90億5,699万円(87億4,853万円)	90億5,726万円(88億8,832万円)	△27万円(△1億3,979万円)

企業会計

公営企業は、民間企業のように利用料金等を財源に、公共の利益を目的に経営する事業で、市では次の5つの公営企業会計を運営しています。

水道事業

令和3年度の給水件数は10,745件で、年間有収水量は2,367,910m³でした。給水区域内において水道未普及地域解消事業として給配水管の布設工事を行っています。また、収支差引は500万円の黒字決算となりました。

収益 10億4,408万円		費用 10億3,908万円	
営業収益	5億8,095万円	営業費用	9億7,404万円
給水収益	5億8,068万円	給与費	8,615万円
その他	27万円	県水受水費	1億8,460万円
営業外収益	4億6,302万円	減価償却費	5億2,828万円
特別利益	11万円	その他	1億7,501万円
		営業外費用	6,488万円
		特別損失	16万円

美榛苑事業

平成22年10月1日より指定管理者による経営に移行し、令和3年度中も指定管理による経営となりました。また、収支差引は、指定管理者からの納付金と一般会計からの補助金を受けましたが年3,074万円の赤字決算となりました。

収益 2,249万円		費用 5,323万円	
営業外収益	2,249万円	営業費用	4,389万円
一般会計補助金	63万円	美榛苑経営費	175万円
指定管理者納付金	2,000万円	減価償却費	4,105万円
雑収益等	186万円	資産減耗費	109万円
特別利益	0円	営業外費用	202万円
		支払利息等	77万円
		雑支出	125万円
		特別損失	732万円
		過年度損益修正損	732万円

市立病院事業

令和3年度の入院患者数は、延べ40,775人(1日平均111人)、外来患者数は、延べ89,733人(1日平均371人)でした。また、収支差引は5億7,584万円の純利益となりました。

収益 43億6,477万円		費用 37億8,893万円	
医業収益	29億3,271万円	医業費用	36億3,517万円
入院収益	17億9,156万円	給与費	22億1,360万円
外来収益	9億8,476万円	材料費	5億1,200万円
その他	1億5,639万円	経費	5億7,948万円
医業外収益	14億3,206万円	減価償却費	3億2,091万円
特別利益	0円	資産減耗費	358万円
		研究研修費等	560万円
		医業外費用	1億5,347万円
		特別損失	29万円

介護老人保健施設事業

令和3年度の入所者数(短期入所者を含む)は延べ28,216人(1日平均77.3人)、通所者数は延べ2,650人(1日平均11.0人)となりました。また、収支差引は7,112万円の純損失となりました。

収益 4億2,426万円		費用 4億9,538万円	
事業収益	4億813万円	事業費用	4億7,692万円
介護報酬収益	3億4,244万円	給与費	3億3,547万円
施設利用料収益	6,525万円	材料費	3,370万円
その他	44万円	経費等	8,654万円
事業外収益	1,613万円	減価償却費	2,121万円
		資産減耗費	0円
		事業外費用	1,846万円

下水道事業

令和3年度の年間有収水量は1,727,879m³でした。榛原天満台地内で老朽化した下水道管路の更生工事を行っています。また、収支差引は1,781万円の黒字決算となりました。

収益 7億8,275万円		費用 7億6,494万円	
営業収益	2億3,630万円	営業費用	7億900万円
下水道使用料	2億2,094万円	給与費	2,842万円
その他	1,536万円	維持管理経費	1億5,715万円
営業外収益	5億4,645万円	減価償却費	4億9,938万円
特別利益	0円	その他	2,405万円
		営業外費用	5,589万円
		特別損失	5万円

宇陀市の家計の状況は？



財政状況は、様々な指標から見ることで初めて分かります。家計と同じで収支（資金繰り）と借入に注目することが重要です。

宇陀市のR3年度財政状況

収支では、経常的な収入（例えば、給料）で経常的な支出（例えば、生活費）がまかなえているか？「経常収支比率・財政力指数」、会計が赤字になっていないか？「実質赤字比率・連結実質赤字比率」、借入（例えば、毎年のローン返済や残高）が多すぎないか？「実質公債費比率・将来負担比率」がポイントとなります。

経常収支比率 改善

財政にゆとりがあり、様々な状況に柔軟に対応できるか？

財政力指数 努力

自主的な収入だけで、どれだけ賄えるか？

財政調整基金対標準財政規模比率 改善

急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

R3年度 92.8%
(R2年度類似団体平均 92.5%)

市税、普通交付税などの経常的な収入のうち、人件費や公債費、扶助費などの行政サービスを維持するために必要な経費へ充てた割合。
この比率が高くなるほど投資的事業（道路や公共施設の整備など）に充てるお金が不足し、財政にゆとりがなくなります。

R3年度 0.27
(R2年度類似団体平均 0.40)

市の人口や面積、税率などに応じ、国が定めた方法で計算した、その市の基準的な収入と支出のバランスを表した財政の体力を示す指標です。
数字が大きいほど財源にゆとりがあり、1に近づくほど自主財源で運営できていることとなります。

R3年度 17.5%
(10%程度が望ましい)

予期しない収入減や不時の支出増加に備える財政調整基金の残高が市の標準的な財政規模（標準的な一般財源の収入額）に対してどの程度の比率を保有しているかを示す割合です。

令和3年度は、収入では地方税や臨時財政対策債が減少したものの普通交付税や地方消費税交付金が増加し、支出においては人件費が減少したことから昨年度に比べて4.2ポイント改善しました。

宇陀市の市債残高はどれくらい？

合計 332億3,860万円

前年度より約15億円減少！

主な内訳

- ▶一般会計…… 234億1,623万円
- ▶下水道事業…… 36億5,477万円
- ▶水道事業…… 31億4,610万円
- ▶市立病院事業…… 26億7,811万円
- ▶介護老人保健施設事業…… 3億8,331万円

標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模のこと

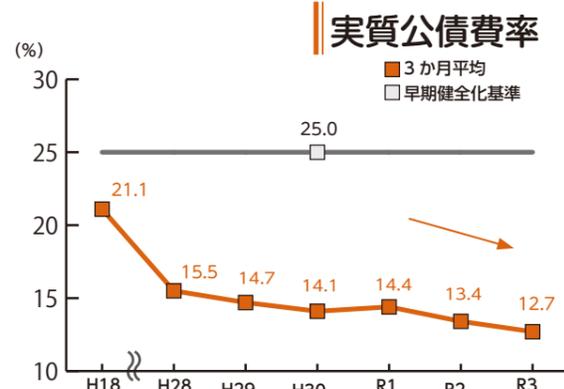
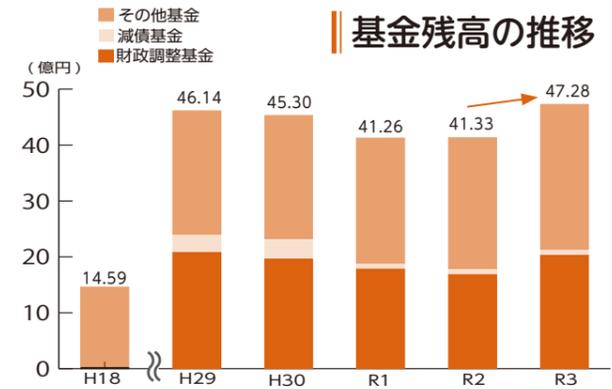
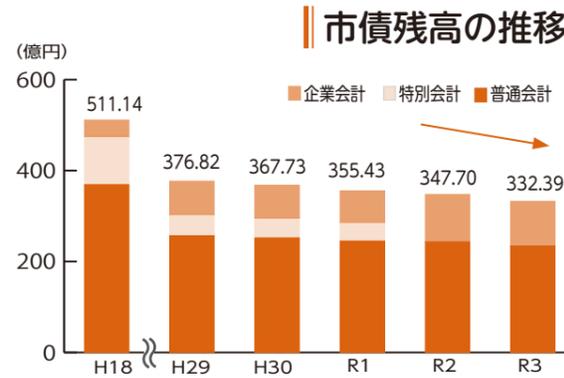
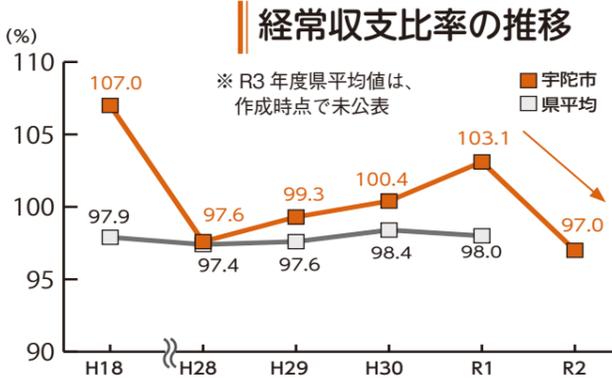


財政健全化判断比率

重症警報の脱却に向けて前進

財政健全化判断比率とは、住民に向けて財政状況を公表するために設定された全国統一の指標で、市議会への報告も義務付けられており、指標の内容によっては財政上の制約や健全化計画を策定、実行する必要があります。各指標の「早期健全化基準」、「財政再生基準」については、いずれの数値についても、より小さいほうが財政的に良好であると言えます。「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」については、黒字の場合は「▲」で表示されます。公営企業については、「資金不足」が生じていないことが最良です。

種類	指標名	指標の概要	令和3年度の宇陀市の決算数値	
			※宇陀市における早期健全化基準（イエローカード）・財政再生基準（レッドカード）	
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計・特別会計（住宅新築資金等貸付事業・霊苑事業・土地取得事業）の赤字額の比率	▲ 3.39%【黒字】	（黒字額は、対前年度比2.22ポイント増加） ※（イエローカード）13.11%、（レッドカード）20.0%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の赤字額の比率	▲ 25.21%【黒字】	（黒字額は、対前年度比6.77ポイント増加） ※（イエローカード）18.11%、（レッドカード）30.0%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する当該年度の借入金（借金）の返済額等の比率で3か年平均	12.7%で健全化基準をクリア。	（対前年度比0.7ポイント改善） ※（イエローカード）25.0%、（レッドカード）35.0%
公営企業	将来負担比率	標準財政規模に対する負担すべき将来の債務（全会計・一部事務組合の負担義務のある残債、土地開発公社の債務保証、負担義務のある職員退職金等）の比率	86.1%で健全化基準をクリア。	（対前年度比22.5ポイント改善） ※（イエローカード）350.0%
	資金不足比率	各会計における事業の規模に対する資金の不足額の比率	各公営企業会計について資金不足は生じていません。	



R3年度に取り組んだ主な事業

主にこんな事業に取り組んだよ



消防機庫整備事業

決算額 3,487万円

地域防災力の向上を図ることを目的に、消防車両の規格変更や老朽化した設備への対応のため消防機庫の整備を行いました。

宇陀クリーンセンター設備更新事業

決算額 2億7,498万円

施設の老朽化による緊急停止等を未然に防ぎ、法令等で定められた基準値を順守し安定した処理を行うことを目的として、機械設備の更新を行いました。

小学校等LED化事業

決算額 891万円

施設機能の長寿命化や省エネルギー化を目的に、菟田野小学校屋内運動場などの照明設備をLED化しました。

新学校給食センター建設事業

決算額 1,459万円

安全で安心な学校給食を提供するため、新たな学校給食センターを建設するにあたっての設計・調査を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策関連事業

感染症への対策や市内事業者への支援のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して様々な事業を行いました。



主な事業	決算額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	3億6,521万円
感染拡大の防止	(3,524万円)
雇用の維持と事業の継続	(1億3,952万円)
経済活動の回復	(1億5,125万円)
強靱な経済構造の構築	(3,920万円)
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	2億357万円
子育て世帯等臨時特別給付金事業	3億1,769万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	3億3,698万円

特集
市政トピックス
うだから
まちのわだい
みんなで子育て
病院・ウェルネス
お知らせ
掲示板
うだちゃん

オミクロン株対応 コロナワクチンの接種について

健康増進課 ☎82・36922 / IP ☎88・9087
※10月18日現在の状況を掲載しています。

市では、国の方針に基づき、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施しています。これにより、国の掲げた令和4年中に接種を希望する全接種対象者がオミクロン株対応ワクチン接種を受けられるよう、接種を加速化させていきます。

【接種実施期間】
令和3年2月17日から令和4年9月30日までとなつていましたが、令和5年3月30日まで延長することが決まりました。

【接種対象者】
初回接種（1～2回目接種）を完了した12歳以上で、最終の接種から5か月以上経過している方。
※オミクロン株対応ワクチンの接種は、人により3回目・4回目・5回目となる場合がありますが、現時点では1人1回となります。
※すでにお持ちの接種券は、3回目・4回目ともに、オミクロン株対応ワクチンの接種に使用できません。
※接種間隔について、今後、国では短縮する方向で検討しています。

【接種券の発送時期】
◇3～5回目接種券
前回の接種日から5か月経過後の12歳以上の方に毎週発送します。
※国の方針により接種間隔（5か月）が短縮された場合は順次接種券を送付します。

【接種方法】
個別接種と集団接種などの方法がありま

す。詳しくは接種のご案内をご覧ください。
【ワクチンの種類と供給】
オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン（ファイザー社（12歳以上）・モデルナ社（18歳以上））になります。ワクチンの供給は、国・県を通じて、順次配送される予定ですのでご安心ください。

初回接種（1・2回目接種）がお済みの方へ
年内に1・2回目接種を完了することをご検討ください。

●1・2回目接種に使用している従来型ワクチンは、年内で、国からの供給を終了する予定です。

●オミクロン株対応2価ワクチンは、1・2回目接種が完了しないと接種できません。

新型コロナワクチン接種に関するお問い合わせ
市新型コロナワクチン接種対策室
☎96・9030 / FAX 82・7234
午前9時～午後4時



まちづくりと健康づくり

のための協定を締結

総合政策課 ☎82・13622 / IP ☎88・9074

公民連携まちづくり推進のためのパートナーシップ協定

9月28日（水）、市は株式会社官民連携事業研究所（大阪府四條畷市）との間に、それぞれが持つ資源および特徴を生かしながら連携協力し、地域の様々な問題解決や地域の持続的発展に寄与する公民連携を促進するためパートナーシップ協定を締結しました。



▲左より鷺見（株）官民連携事業研究所代表取締役社長と金剛市長

【連携協定事項】
・市の課題解決等に寄与する企業の紹介に関すること
・市が行う公民連携事業への助言に関すること
・公民連携事例の情報発信に関すること

健康づくりの推進に関する包括協定

10月4日（火）、地域の健康づくりを推進する取り組みを通じて、市民の皆さんや市内事業所に勤務する従業員のより一層の健康的な生活の実現を図るため宇陀商工会および全国健康保険協会奈良支部と協定を締結しました。



▲左より松塚宇陀商工会長、金剛市長、畿内全国健康保険協会奈良支部長

【連携協定事項】
・市内事業所の健康経営普及推進に関すること
・特定健診およびがん検診の受診促進に関すること
・医療費および健診結果等の分析に関すること
・医療費適正化に関すること 等

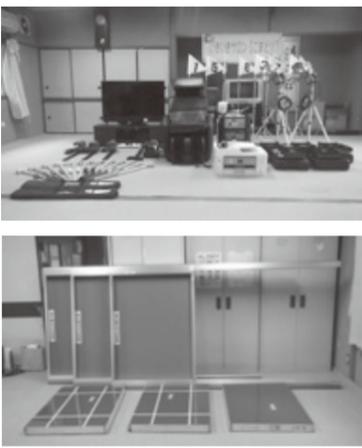
宝くじ助成金で地域を活性化

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業（一般コミュニティ助成事業）として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに助成を行っています。

今年度、市からは次の3自治会が助成を受け、地域のコミュニティ活動に必要な物品を購入しました。

◆駒帰自治会

50型液晶テレビ・テレビラック・ブルーレイディスクレコーダー・掃除機・A3インクジェット複合機・ノートパソコン・マッサージチェア・発電機・3脚スタンド投光器・簡易テント・テント用加重プレート・携帯用カセットコンロ・簡易物置・血圧計・掲示板・グラウンドゴルフセット・スタートセット・電動ヘッドリマー・カメラ



◆桐山自治会

座卓テーブル・和風椅子・餅つき器・テント・三方幕セット・自走式草刈機・インバーター発電機・中型クローラ運搬機・高圧洗浄機・回転ノズルユニット・物置



◆向瀬自治会

エンジンプロフ・テラー（小型耕運機）・コートローラー・プレートコンパクター・移動用PAアンプ・Bluetoothユニット・スピーカーセット・スピーカースタンドセット・ダイナミックマイク・4K50型液晶テレビ・2K24型液晶テレビ・ビジネスプロジェクタ・100型モバイルスクリーン



広報うだがスマホ いつでも見られる



得意な料理は何？



【得意】立てた右手2指の親指を鼻から上方斜め前に出す



【料理】材料を切る様子



【何】右手人差し指を立て、胸前で左右に振る

料理に関する会話をしてみよう。「カレーを作る」は煮込む様子を表現します。何をやるかで手話が変わります。

母はカレーを作るのが上手です



【母】人差し指で頬をなで、小指を上げる



【カレー】折り曲げた右手5指を口に向けて回す



【作る (煮る)】鍋で煮る様子



【上手】左腕を右手のひらでなで下ろす



第28回